東愛知新
平成２９年１２月２７日（水）　掲載

豊橋の法香院婦人会
笑いで認知症を予防
西田さん講師に健康講話

豊橋市野田町の法香院（鈴木善順住職）の檀家女性らでつくる「法香院婦人会」（横山宜代会長）は、同院本堂で「講話会」を開催。市内の西田メディカルクリニック院長の西田元彦さんを講師に迎え、「笑いで認知症予防」の演題で話を聞いた。

同婦人会は1971（昭和46）年に設立、今年で47年目。研修会や参拝旅行、ボランティア活動などを展開しており、講話会開催も活動の一環。檀信徒や僧侶、寺にゆかりのある人などが講師を務め、これまでにプロ写真家、大学教授、少年野球指導者、福祉関係者などが講話を行っている。

西田院長は西洋医学に東洋医学や代替医療等を取り入れる考えの〝統合医学〟普及に努め、その一環で〝笑い療法〟にも造詣が深い。講話では、「作り笑いでも認知症に効果がある」とし、笑いの健康効果について分かりやすい言葉で、時折ユーモアを交えながら具体例を挙げ、学問的に立証されていることを説明した。集まった聴講者62人は、笑い声をあげながらも真剣に耳を傾け、「あっと言う間の40分。非常に参考になった」と感想を述べていた。（田中博子）

「笑いで認知症予防」のテーマで行った講話会＝法香院で（提供）